



あづみ
安積 むつみ



こうめいとうぎいんだん
公明党議員団

生理用品無償配布をきっかけに継続支援を

問 昨年からの新型コロナウイルス感染拡大のあおりを受け、生活困窮や女性の孤立等といった社会的な課題が顕在化している中で、生理用品の提供が、日本国内でも広がってきている。津市も新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して生理用品無償配布事業を行うが、希望者にストレスのない配布を。また、他部局と連携し継続事業とするべきでは。

備蓄品の入れ替え時期に関係部局と連携する

答 学校においては、児童・生徒に生理用品等を必要に応じて準備する習慣を身に付けさせ、学校で必要になった場合は、自ら教員等に伝え常備している生理用品を受け取るようにしているが、いろいろな子どもがいることに配慮し、学校トイレへの生理用品の配置を検討していく。コロナ禍の状況は刻々と変化していくことが想定され、その時点で一つ一つ丁寧に取り組んでいく中で、今回、生活困窮者の支援という観点で生理用品の無償配布事業を提案したが、生理用品は防災備蓄品でもあるため、入れ替え時期に合わせて関係部局と連携しながら有効活用できるよう取り組む。

●その他の質疑・質問●

- 公共施設に換気の目安となるCO₂センサー導入の考えは
- 新型コロナウイルスワクチン接種状況をワクチンメーター等で可視化した情報提供の考えは
- 本年度、高齢者インフルエンザ予防接種無償化の考えは
- 高齢者・障がい者に対する個別避難計画策定について
- 子ども食堂に対する市の関わりについて など



▲効率的な換気の目安とするためCO₂測定により密を可視化



りゅうじんけいすけ
龍 神 啓 介



しみん
市民クラブ

教員の働き方改革について問う

問 「平成28年度教員勤務実態調査」に教員の仕事量が仕分けされたデータがある。津市においても同じ傾向であると考え、授業準備や成績処理、学校行事、そして中学校では部活動にかかる時間が長い。教員支援員や統合型校務支援システムなど、精力的に取り組んできた事務分野はウエートとしては軽い。部活動を筆頭に、これからどのように改善に取り組むか。

津市として子どもたちのための働き方改革を

答 部活動については、令和3年度は、部活動指導員は増配しているが、人材を見つけることが非常に難しいというのが現場の実態であると考えている。また、授業準備では、ICTの活用により、以前は印刷・配付したり、模造紙に書いたりしていた資料を、電子データでの一斉送信や映像資料を活用することにより時間短縮ができると考えられる。国や県から、教員の業務軽減策が示される中で、津市として、各学校として、どのようにして教員の働き方改革をしていくのかは、子どもたちのことを念頭に置いて考えていかなければならないと思っている。

●その他の質疑・質問●

- 自治会問題を受けた補助金の交付方針について
- コロナ禍における健康への間接的影響について
- 行政におけるUI（ユーザーインターフェース）/UX（ユーザーエクスペリエンス）の重要性について など



▲津市立中学校部活動指針